

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月11日
【四半期会計期間】	第16期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	株式会社サンウッド
【英訳名】	Sunwood Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中島 正章
【本店の所在の場所】	東京都港区虎ノ門三丁目2番2号
【電話番号】	(03)5425-2661(代)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 岡本 真人
【最寄りの連絡場所】	東京都港区虎ノ門三丁目2番2号
【電話番号】	(03)5425-2661(代)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 岡本 真人
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第1四半期 累計期間	第16期 第1四半期 累計期間	第15期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	1,423,807	367,585	12,623,471
経常利益又は経常損失( ) (千円)	268,590	774,489	689,901
四半期純損失( )又は当期純利 益(千円)	151,651	783,089	260,598
資本金(千円)	1,266,817	1,266,817	1,266,817
発行済株式総数(株)	38,940	38,940	38,940
純資産額(千円)	3,231,210	2,766,089	3,644,084
総資産額(千円)	18,259,027	11,246,566	12,144,899
1株当たり四半期純損失金額 ( )又は当期純利益金額(円)	3,994.83	20,628.24	6,864.73
潜在株式調整後1株当たり当期純 利益金額(円)	-	-	6,796.70
1株当たり配当額(円)	-	-	2,500
自己資本比率(%)	17.5	24.2	29.6

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 当第1四半期累計期間及び前第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当社の第1四半期累計期間における経営成績は以下のとおりとなりました。

主要セグメントである不動産販売事業につきましては、「サンウッド松濤」の一部住戸を引渡しました。これにより、不動産販売事業売上高は3億4千2百万円となりました。

その他の事業におきましては、リフォーム事業に係る売上や不動産販売に係る仲介手数料、賃貸収入等を中心に2千5百万円となりました。その結果、売上高は3億6千7百万円（前年同期比74.2%減）となりました。

一方、利益面では、たな卸資産評価損4億2千6百万円を含めました売上原価が8億3千1百万円、販売費及び一般管理費が2億5千8百万円となりましたため、営業損失として7億2千2百万円（前年同期は営業損失2億4百万円）を計上しました。また、1百万円を営業外収益として、支払利息等により5千4百万円を営業外費用として計上しました結果、経常損失は7億7千4百万円（前年同期は経常損失2億6千8百万円）となりました。この経常損失から特別損失及び法人税等合計を差し引き、四半期純損失は7億8千3百万円（前年同期は四半期純損失1億5千1百万円）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

##### (資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は112億4千6百万円となり、前事業年度末に比べ8億9千8百万円減少しました。これは主に新規事業用地の取得等により仕掛金が6億1千3百万円増加したものの、たな卸資産評価損の計上及び「サンウッド松濤」の一部住戸の引渡しにより販売用不動産が8億1千8百万円減少したこと、及び買掛金の支払等により現金及び預金が6億4千5百万円減少したことによるものであります。

##### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は84億8千万円となり、前事業年度末に比べ2千万円減少しました。これは主に短期借入金が5億円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が3億4千2百万円減少したこと、及び買掛金が2億6千1百万円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は27億6千6百万円となり、前事業年度末に比べ8億7千7百万円減少しました。これは主に四半期純損失を計上したことによるものであります。この結果、自己資本比率は24.2%となり、前事業年度末比5.4ポイント減少しました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	64,000
計	64,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成23年8月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	38,940	38,940	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	当社は単元株制度は採用 していません。
計	38,940	38,940	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	38,940	-	1,266,817	-	1,115,617

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 978	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 37,962	37,962	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	38,940	-	-
総株主の議決権	-	37,962	-

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社サンウッド	東京都港区虎ノ門三丁目2番2号	978	-	978	2.51
計	-	978	-	978	2.51

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号。）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、監査法人A & Aパートナーズによる四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】  
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	968,004	322,879
売掛金	14,234	8,761
販売用不動産	2,813,914	1,995,692
仕掛品	7,925,450	8,538,971
未収入金	39,340	11,689
その他	94,591	89,578
貸倒引当金	7,000	7,000
流動資産合計	11,848,536	10,960,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	89,536	89,536
減価償却累計額	14,577	15,173
建物及び構築物(純額)	74,958	74,362
工具、器具及び備品	16,795	18,395
減価償却累計額	13,672	13,927
工具、器具及び備品(純額)	3,123	4,468
土地	68,732	68,732
リース資産	2,725	2,725
減価償却累計額	1,408	1,544
リース資産(純額)	1,317	1,181
有形固定資産合計	148,132	148,744
無形固定資産	7,659	6,921
投資その他の資産		
投資有価証券	13,031	13,029
その他	127,538	117,299
投資その他の資産合計	140,569	130,328
固定資産合計	296,362	285,994
資産合計	12,144,899	11,246,566

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	405,549	144,437
短期借入金	387,000	887,000
1年内返済予定の長期借入金	1,294,488	952,437
未払法人税等	11,529	3,152
前受金	306,775	360,795
引当金	20,833	39,419
その他	70,208	86,071
流動負債合計	2,496,385	2,473,313
固定負債		
長期借入金	5,929,500	5,929,500
引当金	64,267	67,922
その他	10,662	9,740
固定負債合計	6,004,429	6,007,163
負債合計	8,500,814	8,480,476
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,266,817	1,266,817
資本剰余金	1,115,617	1,115,617
利益剰余金	1,295,977	417,982
自己株式	79,050	79,050
株主資本合計	3,599,361	2,721,366
新株予約権	44,723	44,723
純資産合計	3,644,084	2,766,089
負債純資産合計	12,144,899	11,246,566

( 2 ) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

( 単位：千円 )

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,423,807	367,585
売上原価	1,391,791	831,239
売上総利益又は売上総損失( )	32,015	463,654
販売費及び一般管理費	236,701	258,435
営業損失( )	204,686	722,090
営業外収益		
受取利息	155	120
その他	1,140	1,770
営業外収益合計	1,296	1,890
営業外費用		
支払利息	65,075	54,289
その他	125	-
営業外費用合計	65,200	54,289
経常損失( )	268,590	774,489
特別損失		
和解金	-	8,000
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,213	-
その他	7	-
特別損失合計	2,221	8,000
税引前四半期純損失( )	270,811	782,489
法人税、住民税及び事業税	600	600
法人税等調整額	119,760	-
法人税等合計	119,160	600
四半期純損失( )	151,651	783,089

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
減価償却費	2,061千円	1,726千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	94,905千円	2,500円	平成22年3月31日	平成22年6月25日	利益剰余金

当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	94,905千円	2,500円	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計
	不動産販売事業		
売上高			
外部顧客への売上高	1,370,000	53,807	1,423,807
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	1,370,000	53,807	1,423,807
セグメント利益又は損失( )	55	32,071	32,015

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産仲介、リフォーム、賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計
	不動産販売事業		
売上高			
外部顧客への売上高	342,049	25,535	367,585
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	342,049	25,535	367,585
セグメント利益又は損失( )	476,172	12,517	463,654

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産仲介、リフォーム、賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期損益計算書の売上総損失と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額( )	3,994円83銭	20,628円24銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額( )(千円)	151,651	783,089
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額( )(千円)	151,651	783,089
普通株式の期中平均株式数(株)	37,962	37,962

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月1日

株式会社サンウッド  
取締役会 御中

### 監査法人 A & A パートナーズ

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 中井 義己 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 町田 眞友 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンウッドの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第16期事業年度の第1四半期会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンウッドの平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。